



ハーモニー相談室 ~あなたらしい生き方を応援します~

ハーモニー相談室では、あなたの気持ちをありのままに受け止め、大切にしながら、家族や地域、社会の中で孤立することなく「自分らしく」生きていけるように、解決方法を探っていくお手伝いをします。

◆家族(親、子ども)のこと ◆夫婦のこと ◆生き方、性格のこと ◆ドメスティックバイオレンスなど

相談は無料です。秘密は厳守します。

【直通ダイヤル】018-836-7846 / 月~土曜日 10:00~17:00

＜相談室から＞☆当相談室の”女性のための語り合いの場(グループワーク)☆

日々の生活や人間関係の中で感じる息苦しさ、突破口の見えない辛さ、自分だけだろうかという不安など、女性だからこそ感じる生きにくさや気持ちを語り合います。5~6人の小人数、やわらかいルールのなかで、直ぐに緊張もとけ、丁寧に耳を傾けてもらえる心地よさを感じはじめます。「私だけではなかったんだ」「あるあるそういう気持ち」「そういう見方もあるのか」「こういうマイナスの思いを口にしてもいいんだ」などの思いが安心感を生み、1クール6回を重ねるうちに、「自分の思いを相手に伝えてみよう」「自分を大切に生きてもいいんだ」と少し元気を貰うことができます。3クールすべてに参加することもできます。

関心をもたれた方は当相談室までお問合せください。



お知らせ

秋田県中央男女共同参画センター事業 父親支援講座

パパもつくれるよ!



明日は Happy Valentine!

~あなたの大切な人へ

「ありがとう」の言葉を添えて
手作りスイーツを贈りましょう♡~

日時:平成23年2月13日(日) **無料です**
10:30~12:00

場所:こどもサロン(アトリオン6F)

講師:寺田 信博 さん(主夫歴15年)

対象:3歳位から小学生のお子さんがある
パパと子ども(10組程度)

内容:ホットプレートや電子レンジで簡単な
チョコスイーツをつくります。

申込み・お問合せは

秋田県中央男女共同参画センターまで

TEL(018)836-7853



国の第3次男女共同参画基本計画が策定されました。詳しい内容に関しては、内閣府男女共同参画局のホームページからもダウンロード出来ます。

現在、秋田県でも第3次男女共同参画推進計画の策定作業を進めているところです。当センターにも冊子を設置する予定ですので、是非ご一読下さい。



●●●●登録団体のみなさまへ●●●●

平成23年度の団体・グループ活動室利用登録更新申込書を2月中旬に発送いたしますので、必要事項をご記入の上、3月15日頃までご返送下さい。

※ご不明な点は、センターまでお問合せ下さい。

なお、今年度第二回利用者懇談会を2月21日(月)に開催いたします。センターへの貴重なご意見やご提案などお伺いしたいと思っておりますので是非ご出席下さいますようお願いいたします。

【編集後記】

お正月気分もどけへやら、厳しい冬の到来です。雪遊びをする子ども達の声もあまり耳にすることがなくなり、少子化の現実を思い知らされる秋田の冬です。この現状に少しでも歯止めをかけるためには行政や地域の取り組みは勿論、ワークライフバランスの推進も不可欠です。センターの使命も問われているという自覚を持って今年もさまざまな事業に取り組みたいと思います。(A.O)



あらゆるライフステージの「生き方応援館」



ハーモニープラザだより

平成23年1月発行
vol.11

発行:秋田県中央男女共同参画センター 電話:018-836-7853 <http://www.akita-challenge.jp/center/>
〒010-0001 秋田市中通2丁目3-8 アトリオンビル6F 指定管理団体・NPO法人いきいきFネット秋田

平成22年
12月6日
開催

相談援助者のためのサポートセミナー 報告

~ 精神的DV-モラルハラスメントについて ~

「相談援助者のためのサポートセミナー」を開催しました。このセミナーは毎年行われているもので、今年は講師に、フェミニストカウンセリング学会代表の井上摩耶子さんをお迎えしました。テーマは「精神的DV-モラルハラスメントについて」とし、講話の後にワークショップも組まれた体験型のセミナーでした。援助者のほかに、関心のある一般県民も対象としていて、この日は、男性7名を含む41名の参加がありました。DV法が施行されて10年余りたちますが、身体暴力が刑罰の対象となると知った加害者は、今度は目に見えない、見えにくい精神的な暴力に移行しているとも言われています。身体暴力と違い、精神的な暴力は、見えないという以上に被害を受けている当の被害者さえ分かりにくい暴力です。それ故に援助者のみならず、一般の方々にもその実態を知ってもらい、支援の強度を高めたいというのがこの度の講座の狙いでした。



井上さんは、従来のカウンセリングとフェミニストカウンセリングの違いを詳しくお話してくださいました。「女性の相談は、個人的な欠陥ではなく、生育歴だけでも還元できない、原因は社会文化的な要因にある」という視点に立ったフェミニストカウンセリングは、そのままDVの社会的な背景や原因、被害を受けた女性のありかたを浮き彫りにするメッセージでもありました。参加された方々も支援者としての立ち位置として、日々の活動にひきつけられたのではないかと思います。また、精神的DVについては、「加害者と被害者の支配関係のなかで、被害者は心理的に束縛され、蜘蛛の巣に捕えられた獲物のように衰弱していく、だが、自分が心理的に侵入を受けているとは自覚していないことが多い」と、フランスの精神科医マリーフランスの著書を引用しながら説明してくださいました。

解りにくいと言われている精神的暴力についての講話でしたが、アンケート調査では「理解できなかった」という回答が0だったことは、主催者側には大変うれしい結果でした。ワークショップで構成事例をもとに話し合われた内容は、井上さんからのコメントにより、より深まったのではないかと思います。参加者からは、「支配される人の気持ちを考えると、社会的な大問題と感じた」「教育関係者にこの講話を研修のひとつとして聞いてもらいたい」「言葉によるモラルハラスメントの潜在的な怖さを理解することが出来た」という声がかれました。個人に起きていることは、社会の在り方が大きく影響している、個人的な問題ではないということ、渦巻いている社会問題の存在を、参加くださった方々に理解していただいたとの感を強くもちました。

今後も暴力のない安全で安心できる社会を目指し、さまざまな角度、視点から発信していきたいと思えます。

＜参加者アンケートから＞

- ★モラルハラスメントについて認識が深くなった
- ★自分では気づいてないことがDVになることにおどろいた。
- ★フェミニストカウンセリングと(伝統的)カウンセリングの違いが明確になった。
- ★DVの理解が深まれば、世代間連鎖は防げるということに希望が持てました。

◆目次◆

- P1・「相談援助者のためのサポートセミナー」開催報告
- P2・萩原なつこさん語録 ~ハーモニープラザがより基調講演から~
- P3・ようこそハーモニープラザへ! 新春企画 <子どもサロン>
- P3・第2回地域連携ネットワーク会議 参加報告
- P4・＜中央センター主催講座等のご案内＞「パパもつくれるよ!」
- P4・相談室から・お知らせ、編集後記

ハーモニープラザまつり2010/基調講演「参画で地域をデザインする♪」

ハーモニープラザまつり、基調講演講師・萩原なつこさんの講演から、名言語録をご紹介します。笑いの中にもポイントを抑え、適切・確実に伝えてくる萩原さんのお話しに、参加者は皆引きこまれました。男女共同参画や地域づくりを進めていくヒントが満載の講演は全編をお伝えしたいところですが、今回は選りすぐった箇所をお伝えします。講演に参加された方も、思い出しながらご覧下さい。



- 第一** 高齢者高齢者といいますが、これは言葉を変えたほうがいいと思う。「生活達人者。」言葉を変えるってとっても大事なんですよね。だから高齢化率が高いといわれても高齢者だと思っていない人が多いので生活達人率と言葉を変えたほうがいいと思う。そうすると全然発想が違ってくる。
- 第二** 要するに目的が何であってその目的を達成するためにどういう目標を設定して、その目標を達成するために何が必要なのかということ。
- 第三** 街には色々な視点がある。男性の視点、女性の視点、生活の達人の視点、若い視点、幼稚園、小学校の視点。それから目線が違う。同じ街を見てても子どもはこの目線で見てくる。背が高い人はこういうところを見てくる。200cmくらいの人は見るところが違う。そうするとそういう視点が集まってくると街が立体化してくる。
- 第四** 性別は自分で選んできていないもので、それで色々な差別であるとか、不都合が生じる。「これおかしいですね。」というのが男女共同参画社会の目的。男であろうが、女であろうが「私こういうことしたいです。チャンレンジしたいです」というときに「どうぞ」と言える社会を作りたい。
- 第五** こういう風に生きたいという可能性を奪わない社会を作っていくのが、男女共同参画の一番の役割。だから選択肢をあげる。女の人はいかに出来ない、男の人はこれしか出来ないではなくて、どうぞ自由にやってください。
- 第六** 多様性を大事にしてこそ、自分も生きていける。人間も色々な多様性がある。そういう世界を作っていくというのが一番のベースにある。だとするとやっぱり、地域づくりを考えた時に男性も女性もそれぞれの意見を反映できる仕組みということで参画社会をどうつくるか、参加者からどうするかという話。

参加報告

平成22年度 第2回地域連携ネットワーク会議

開催日:平成23年1月17日(月) 場所:秋田地方総合庁舎6階

地域での情報交換及び連携推進を目的として、第2回中央地域連携ネットワーク会議が開催されました。会議には、FF推進員、市町村担当者、ハーモニーネット団体、秋田県、秋田地域振興局、中央センターの担当者の31名が参加し、FF推進員として活躍している由利本荘市の伊藤久美子さんと、潟上市の宇瀬順さんの事例発表のあと、2つのグループに分かれてグループ・ワークを開催しました。

グループでは、地域における男女共同参画を進めるために、これまでの反省点や今後への課題を積極的に話しあったり、自らが地域の主体となって進めるための工夫やポイントを他の参加者へ求める場面が多く見られました。グループ・ワークや事例発表の質疑等が出された、発言を以下にまとめました。

<FF推進員>

- ・関連事業への参加や、寸劇等を活用しながら、各市町村や地域における、日々の地道な活動を重ねていくことが大事。
- ・メディア等を利用した有効な情報の発信をしていく。
- ・(チラシなどでは)男女共同参画を全面に出さない事業もある。
- ・一人でも理解してくれる人がいれば、それだけで成果になるのだと思う。
- ・以前は人集めが大変だったので、人の居るところに出掛けて事業をした。
- ・今後は学校などの教育機関へ活動を広げてはどうか。

<活動団体>

- ・会議に参加することが第一歩。
- ・このような会議があつて連携も可能になる。

<全体・その他>

- ・普段から集まって話が出来ると関係作りの必要性。
- ・基礎講座のような事業を継続して行なうための予算の確保をどうするか。
- ・このような会議に出席して、中央地域のネットワークを広げていく。
- ・地域振興局を主体とした、組織づくりと活動を強化してはどうか。



グループ・ワーク(Aグループ)の様子

グループ・ワークは秋田市・潟上市・南秋田郡(Aグループ)と由利本荘市・にかほ市(Bグループ)の2つで行ないました。

中央センターでは今回の話し合いの内容や提案も、来年度以降の事業やセンター運営等に取り入れるように検討します。また、地域の活動団体やFF推進員が今まで以上に連携・協力出来るよう支援していきたいと考えています。

新春企画
チビままサロン・インタビュー

中央センターでは平成21年度より小さなお子さんを持つお母さんたちのリフレッシュタイムの提供として『チビままサロン』を開催しています。今号では、チビままサロンに参加している方々にお話を伺いました。

中央センターに足を運ぶようになったきっかけは何ですか
子どもサロンに来て、チビまま講座のことを知って参加をしたのがきっかけ。

以前から、このセンターのことを知っていましたが、また、利用するようになったから、気がついたことを教えてください。

知らなかった。センターに来てみて、子どもから少しでも離れる時間ができ、母親になって新しい事を学べる楽しさを知った。また、子ども達も親から離れて遊べるようになった。

男女共同参画について興味はありましたか。また、センターを利用するようになって認識がかわりましたか。

興味はあつたが、よく分からなかった。いろいろな講座があり、実際参加してみてもいろいろな事を学ぶ事が出来て、理解が深まった気がする。

センターがより広い年代の方に利用してもらいたい。どのような工夫が必要だと思いますか。

いろいろなイベント等を開催して興味を持ってもらう等、センターの事を知らない人が多いと思うので、もっと知ってもらえるように告知してはどうか。

今後、予定している企画。またやってみたいことがありましたら教えてください。

もっと沢山の子どもを持つ母親に向けて色々な講座や、話す機会を作れるような企画をつくりたい。

この日は小野さん、繁里さん、長尾さんが来年度企画中の講座の打ち合わせにいらしてました。「もっと多くの母親たちが自分に自信を持って、いきいき暮らせる手伝いが出来れば。」

それぞれの持つ、多彩な才能で様々なミニ講座を開催してきたチビまま達は、そのノウハウを活かして、来年度は自主講座を企画中です。彼女たちのやる気にセンターの私たちも勇気づけられるとともに、今後とも応援していきたいと思っ

たいと思っています。ご協力、ありがとうございました！

